

令和06年度日進市事務事業評価シート

大事業名		教育委員会事務局事務		コード		05230300-0201	
中事業名		教育委員会事務局総務事務		計画区分		①	
担当部等		生涯学習部		担当課等		学習政策課	
総合計画		コード	名 称	予算科目		コード	名 称
	基本目標	05	学びと文化で未来を創る人財を育てる		会計	1	一般会計
	基本施策	23	学校教育		款	10	教育費
	主要施策	03	教育基盤の整備		項	01	教育総務費
					目	02	事務局費
					大	02	教育委員会事務局事務
					中	01	教育委員会事務局総務事務
根拠法令・条例等		教育基本法、日進市教育委員会の活動の点検及び評価に関する要綱					
基本計画等		教育振興基本計画、日進市立小中学の校適正規模及び適正配置に関する基本方針					

1 事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	教育振興基本計画の具現化を図るため、年度ごとの基本方針及び重点目標を策定する。なお、計画の進行管理については、教育委員会事務の点検評価制度を活用し、PDCAサイクルを意識した計画の推進を図る。また、市内小中学校の規模及び配置の適正化に対応するため、児童生徒数推計を基に小中学校適正規模等検討委員会を開催する。 学校部活動地域移行の推進に伴い、同業務に関連する事務を執行する。
対象	教育委員会事務局
意図（目的）	教育委員会の権限事務を適切かつ効果的に処理する。
手段	各課において当年度にかかる「基本方針と目標」を策定、前年度の事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を実施 等

2 実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			R4予算額	R4決算額	R5予算額	R5決算額	R6予算額	R6決算額	R7予算額
			1, 323	790	1, 441	836	6, 381	5, 149	6, 220
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	900	3, 813	900
		県支出金	12	12	12	12	12	12	12
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	3, 625	232	1, 105
	一般財源		1, 311	778	1, 429	824	1, 844	1, 092	4, 203
	人件費	正規職員	業務量		0.00 人		0.00 人		2.50 人
人件費				0.00		0.00		17,560.00	0.00
会計年度任用職員		業務量		0.00 人		0.00 人		0.00 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		0.00	0.00
総事業費（千円）				790		836		22,709	0

令和06年度日進市事務事業評価シート

○令和 6年度に記載した具体的な改善内容

令和 6年度に 実施する具体的な 改善内容	
今後 (1～3年以内) 実施可能な 改善内容	
令和 6年度に 取り組んだこと	教育振興基本計画の年度ごとの基本方針及び重点目標を策定した。教育振興基本計画の主要な施策や事務事業の点検、評価を実施した。小中学校適正規模等検討委員会を開催し、市内小中学校の適正化について検討した。部活動地域移行検討委員会を開催し、中学校部活動の地域移行の方針を検討した。
成果	西小学校の適正化と赤池小学校の増築について方針を決定した。西小学校の適正化については、住民説明会やアンケートを行い、市民の意向確認を行った。部活動の地域移行について、実証事業を行うとともに市内の生徒、保護者へアンケートを行うなど、本市の実情に合った地域移行の形を検討し、方針を決定した。
課題	「地域に開かれた学校」づくりとセキュリティ対策の両立を行う必要がある。特に古い学校は、セキュリティの問題から校舎を利用することが難しい。 部活動の地域移行を民間委託する場合、多額の事業費が発生することとなる。教職員、児童生徒、保護者の想いに寄り添いながら、持続可能な地域移行を目指す必要がある。

3 事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	
評価の理由	小中学校の新增築や学区変更等について、「日進市立小中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針」に基づき、人口推計等を踏まえて検討を行う。部活動の地域展開について、方針に基づき、児童生徒の活動機会を確保するため、保護者、既存活動団体、部活動指導員などの地域クラブ指導者を募集する。			

4 今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 7年度に 実施する具体的な 改善内容		西小学校は、移転改築することとなったため、新設校舎の建築に向け、市民の声を聞きながら、より良い教育環境の整備に努める。また、赤池小学校は、増築校舎の建築を円滑に進めていく。 部活動の地域展開について、教職員、児童生徒、保護者の想いに寄り添いながら、地域クラブ活動の体制が整った部活動から地域展開を進めていく。			
今後の 方向性	成果	●拡充	○維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	●拡大	○維持	○縮小	○皆減
今後 (1～3年以内) 実施可能な 改善内容		実証事業の種目・部活動数を増加していく。地域クラブ指導者を募集し、地域クラブ活動の体制が整った部活動とのマッチングを図る。学校施設の有効活用を促進し、利用していない教室などを児童生徒の体験活動の場として活用する。			

【アウトプット指標】

指標名	市ホームページにおける部活動の地域展開に伴う活動団体の案内数					単位	団体
指標データ	R4年度		R5年度		R6年度		R7年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
					10.00	10.00	30.00

【アウトカム指標】

指標名	休日部活動を補完する地域クラブ展開数					単位	団体
指標データ	R4年度		R5年度		R6年度		R7年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
					3.00	3.00	4.00
式	市内中学校の部活動を補完する地域クラブ活動数						
指標の狙い	教職員の多忙化を解消するため、休日部活動の回数を減らしていくが、部活動に代わる地域クラブを展開し、子どもたちの体験活動機会を確保する。						